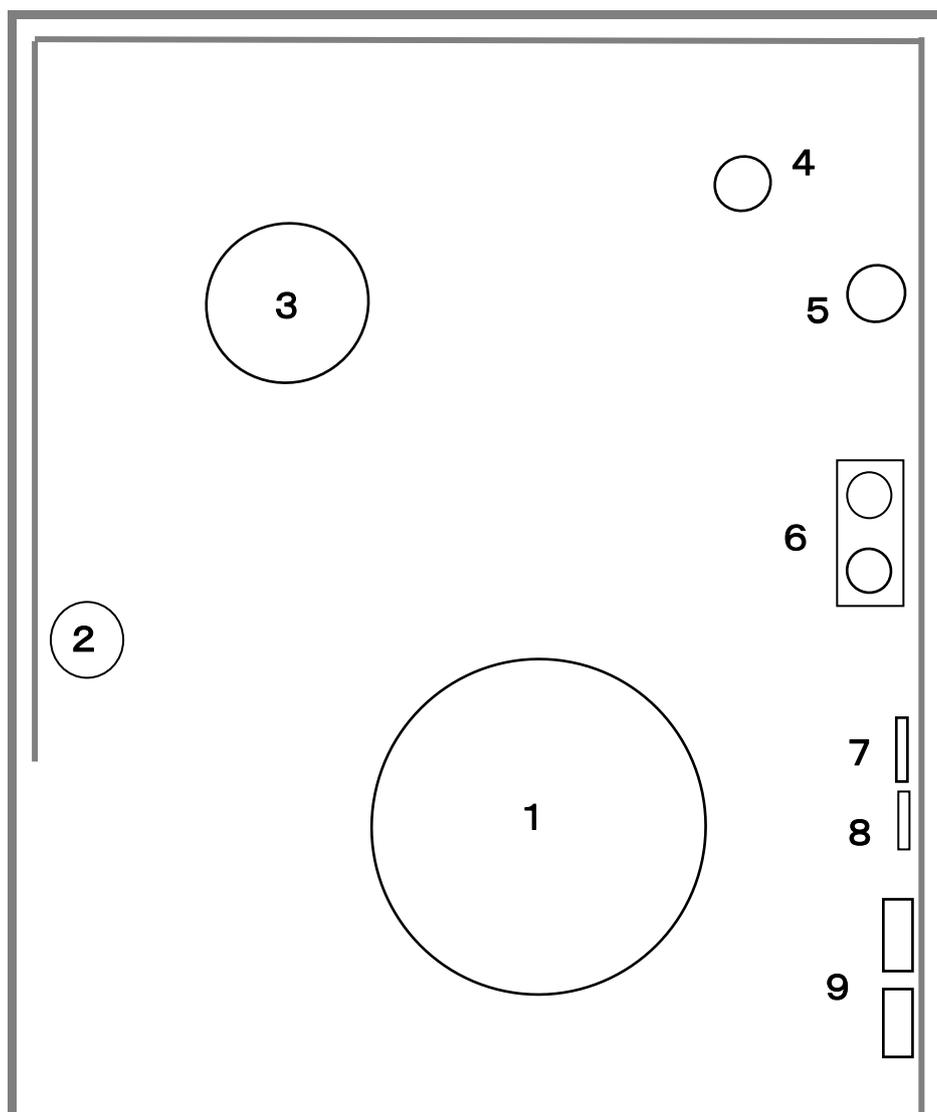


林 幸秀 作品展 「耳をすましてこえをきく～身近な自然素材を使った現代アート～」

期間：2023年11月8日(水)～11月19日(日)

場所：高蔵寺ふれあいセンター シティホール



| No. | 作品タイトル | 素 材 | 制作年 |
|-----|----------------|------------------|------|
| 1 | やまのこえ | 木 松 松葉 石 マサ土 | 2021 |
| 2 | つれづれなるまま | 松葉 木 | 2019 |
| 3 | か・る・か・や | メリケンカルカヤ 木 | 2021 |
| 4 | うみにきく | 牡蠣殻 しっくい 木 UVレジン | 2021 |
| 5 | 耳をすましてこえをきく | シャベル 枝葉 | 2019 |
| 6 | かたりあうとき (2点) | 球果(※) 木 牡蠣殻 椅子 | 2019 |
| 7 | 内津川沿いのメリケンカルカヤ | (写真) | — |
| 8 | がんばって生えたね。 | (写真) | — |
| 9 | ひとりばえの黒松の稚樹 | — | — |

※ 球果(きゅうか) マツ、スギ、モミなどの、まり形の果実の総称

林 幸秀 作品展 「耳をすましてこえをきく～身近な自然素材を使った現代アート～」

期間：2023年11月8日(水)ー11月19日(日)

場所：高蔵寺ふれあいセンター シティホール

作品コメント

1 やまのこえ

3月も中旬になると、
いつ芽を出そうかなとその時を待っている木々がたまらなく美しい。
それらが集まって大きな山になる。
依り代の木を囲みながら…。



2 つれづれなるまま

松葉は庭にパラパラと少しずつ落ちる。
葉が入れ替わりながら生きているのだ。
落ちた葉は何日経ってもあまり姿を変えない。
その不思議な力を借りてみた。



3 か・る・か・や

激しい風や雨にも、しなやかに揺れてまた元に戻る。
冬は立ち枯れ状態、春になるとどンドン緑の葉が増えていく。
実にしたたかでたくましい。
名前は『メリケンカルカヤ』 外来種だ！



4 うみにきく

牡蠣殻(かきがら)が高く積み上げられていた景色が、
幼い頃の記憶に残っている。
有機石灰になることは有名だ。
最近、浄化作用もあることを知った。



5 耳をすましてこえをきく

使われなくなって赤さびがついていた。
義父が長年使っていたものだ。
いつも花や木を育てていた姿が心に残っている。



6 かたりあうとき (2点)

そこにある美しさ、自ら生きている姿
土いじり用の椅子の上に置いて、
話しかけてみた。



7 内津川沿いのメリケンカルカヤ (写真)

車を運転していてよくみつける。道路の際に！

8 がんばて生えたね (写真)

黒松の稚樹はじっと観察すると見つかった。
水分があるところに、ひっそりと…。

9 ひとりばえの黒松の稚樹

今年の夏は気温も高かったせいか、
たくさんの黒松が育った。
森のパイオニアさん
がんばれ！

